

市民と直接対話を!

胡子 雅信 議員

答 各種団体代表者と 意見交換する



運賃補助について

胡子雅信 広島・呉への船便による通勤・通学者への支援も必要になってきていると考えるが一部補助もできないか。また、民間5社との協業はどうか。

胡子雅信 これまで以上に市民の協力が要。あらゆる世代の市民と対話するため、定期的な地域懇談会はどうか。ホームページで市長の声を発信し、市民の声を聞く【目安箱】を設置しては。

市長 運賃補助は、有効な手段かもしれないが現状では困難。民間5社との協業は、現在難しいが将来的にはありえる。統合などによって1社となったときに国の補助もありえると聞く。

人件費カットに

USN

胡子雅信 市職員数は類似団体より多い。第2次

行財政改革で人件費のカットはどうか。

市長 自治会組織や各種団体の代表者が集う場で市民のニーズを把握したい。手紙のような形式で市民からの意見をいただくことは検討してみたい。

廃校利活用について

胡子雅信 陸の玄関である大君小学校跡地利用として【道の駅】はどうか。また、市内の特産品・農産物の販売所とすれば観光ルートのひとつとなりえるが。

市長 聖域なき改革として、給与・定数を含んだ人件費削減を考えなければならぬ。可能であれば地場民間企業の給与調査をする。

市長 【海辺の新鮮市場】や【ふれあいプラザさくら】などの類似施設の利用状況・採算性などを考慮しながら【道の駅】の立地可能性を検討する必要がある。



▲ 江田島市、陸の玄関口 大君小学校

一般質問、その後の課題

太刀掛 隼則 議員

答 順次、取り組む

太刀掛 広報紙に有料広告の掲載を。

市長 有料広告導入検討委員会を立ち上げ、様々な視点から検討を重ねてまいりました。

まず、公用共通封筒を年間3万5千枚を2月下旬納品、3月から使用する。

更に、広報紙や市のホームページなど多分野においても順次導入するよう取り組む。

太刀掛 公営バスを職員が一定の日、登退庁時にバスを利用しては。

市長 先月全職員を対象にバスの利用状況のアンケート

ト調査を実施しました。利用した職員は35%でしたが、利用者が少ないようですが、今後も機会を捉えバス利用を呼びかける。市民に対しても、利用促進に向け積極的に情報を発信します。

太刀掛 太陽光発電の公共施設導入を。また一般家庭への補助を。

市長 国は住宅用太陽光発電補助金の復活に向け、検討されており。本市としても、地球温暖化対策の一環として、住宅用太陽光発電普及は必要であると考え、国の補助制度が決まり次第、検討作業に入りたい。

太刀掛 廃食油を可燃ごみで処分せず、リサイクル燃料化の検討を。

市長 新エネルギー導入に向け、先進地の視察研修を実施しました。新型のディーゼルエンジンは使用不可能となつていいます。従来のエンジンは少なくなる中、バイオディーゼル燃料の需要も限られる。精製技術の開発による純度の向上を待ちながら多方面への可能性を探りたい。



▲ 住宅用太陽光発電システム（江田島町津久茂）



歳出削減はどこまで

鎌田 哲彰 議員

答 さらに行財政改革

鎌田 聖域のない歳出削減はどこまで踏み込むのか。

市長 持続可能な自治体として、健全な財政運営を確保するため、更なる行財政改革への取り組みを推進する。

鎌田 教育の充実とは。

市長 子どもに資質の高い教育を提供するための重要な要素であり、必要な授業費の確保や施設整備に努める。

鎌田 地域活性化支援員とは。

市長 職員の中から登用するが、あくまで主体は地域住民で物事を進めて

もらう。窓口業務だけでなく地域全般の政策的なことを協働で支援していく。

鎌田 地場産業の振興策で、販売促進の施策はなのか。

市長 市内の産品販売所及び住宅展示場などのイベント開催時に、地産地消の取り組みを進める一方、第一次産品のインターネット販売やメディアを利用した販売、更には共同出荷により力強い販売を行う。

鎌田 新市長のカラーは。

市長 地味な性格ではあるが、市民が希望を持つて明るくなれるように、



▲ 江田島まるごとフェア（能美運動公園）

持続可能な江田島市になるよう、地味でこつこつまじめに頑張るといふことをカラーとする。